



③② 葬列の役割表

昭和8年(1933)

今では殆ど見ることができなくなりましたが、伝統的な葬儀において、もっとも大掛かりに行われた儀礼が「野辺送り」です。野辺送りとは、死者を墓地や火葬場へ運ぶこと、またその行列をさした言葉です。野辺送りの行列が墓地や火葬場に到着すると、僧侶によって引導が渡され、埋葬や火葬が行われました。この史料は、昭和初期に現在の高崎市石原町近辺で行われた野辺送りの役割を列記したものです。

片山紀道家文書 P9311 No.865-42

(高崎市石原町)

③② 葬列の役割表

〔釈文〕

役割

以上	一膳	一位牌	一香箱 (こうばい)	一勳章	一天蓋 (てんがい)	一松明 (たいまつ)	一弓	一鹿花 (しかばな)	一四旗 (しはた)	一花籠 (はなかご)	一燈籠 (とうろう)							
	片山喜ヨ	片山一馬	片山シヨウ	山口吾八	片山良太郎	片山伴次郎	落合兵三郎	山口豊	同 マサエ	廣瀬ヨシ子	岡本勇吉	中島柳樹	河原治平	角田武平	廣瀬貞良	山口弥吉	小山千代吉	関口喜作